

# 環境経営レポート

2019年度

対象期間: 2019年4月1日～2020年3月31日



平城京大極殿正殿

奈良スバル自動車株式会社

作成: 2020年 7月27日

# 【1】会社概要

## (1) 事業所名

奈良スバル自動車株式会社

## (2) 所在地

〒634-0837 奈良県橿原市曲川町6-19-17

## (3) 代表者氏名

代表取締役社長 高木 信一

## (4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者	取締役副会長	安井 光雄
事務局	総務部 部長	増田 衛昭
担当者	総務部 部長	増田 衛昭
連絡先	電話 0744-22-1331	FAX0744-24-5549

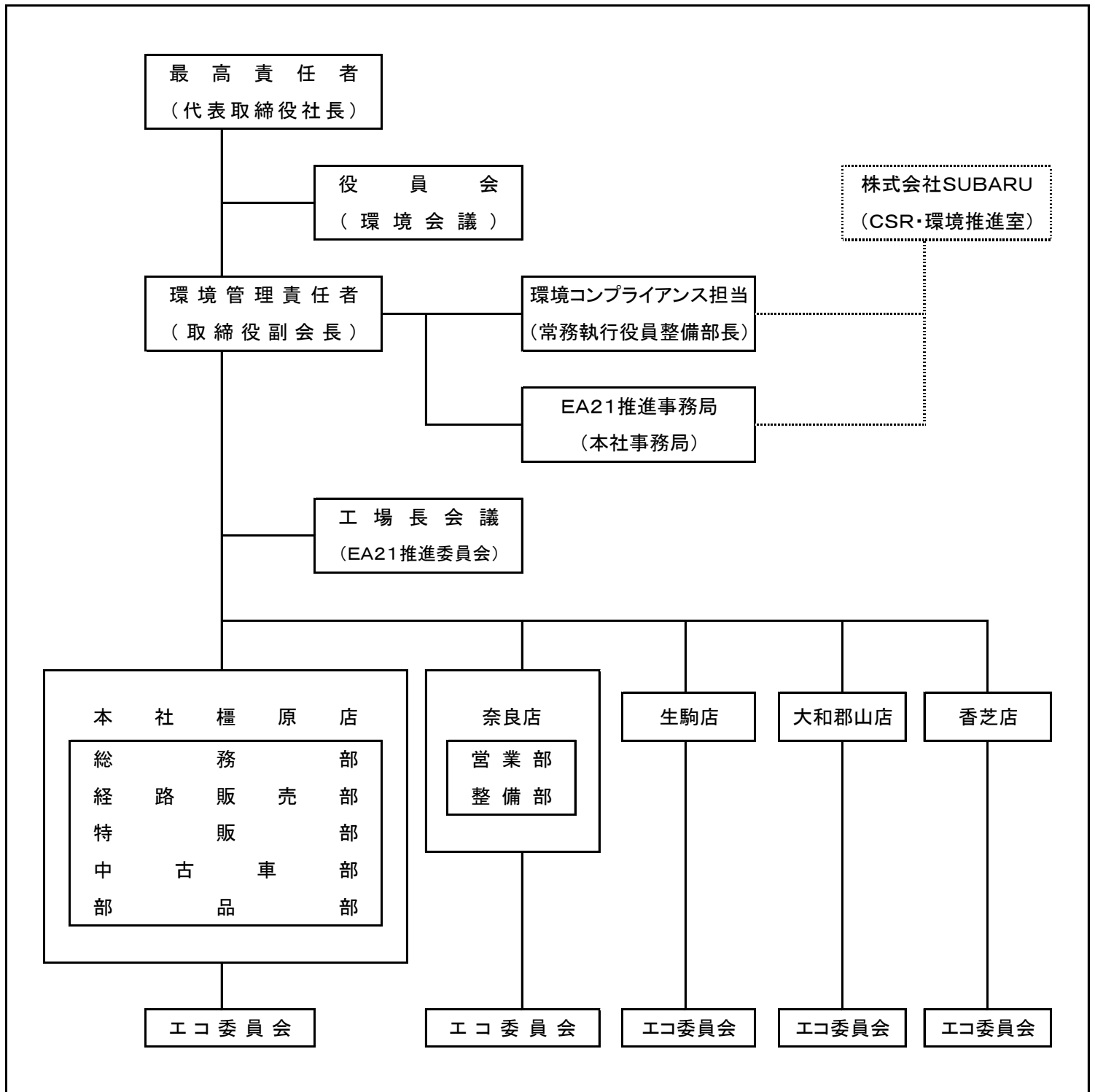
## (5) 事業の内容

1. 自動車の販売 2. 中古自動車の販売 3. 前各号に関する部品・用品の販売  
および修理 4. 自動車の整備 5. 損害保険代理業および自動車損害賠償保障法  
に基づく保険代理業

## (6) 事業の規模

・売上高		6,666百万円(2019年度)
・新車販売台数	スバル	1,602台(2019年度)
・中古車販売台数		1,136台(2019年度)
・従業員数(派遣・パート等含む)		146人
・店舗数		スバル新車直販5 業販1 中古車1

(7)EA21推進組織図



(8)事業所一覧・組織区分

事業所名	郵便番号	住所	連絡先	電話番号	FAX番号	面積(坪)		工場 資格	組織 区分
						土地	建物		
1 本社橿原店	634-0837	奈良県橿原市曲川町6-19-17	松村行晃	0744-22-1331	0744-24-5549	1,495.0	560.3	指定	A
2 奈良店	630-8014	奈良県奈良市四条大路1-4-56	萱原正啓	0742-33-6451	0742-35-1275	2,047.0	616.0	指定	C
3 生駒店	630-0201	奈良県生駒市小明町2103-1	臼井達也	0743-70-8555	0743-71-8530	418.5	283.3	指定	B
4 大和郡山店	639-1115	奈良県大和郡山市横田町88-1	栢谷明良	0743-56-8282	0743-56-6332	1,825.7	594.1	指定	B
5 香芝店	639-0241	奈良県香芝市高148-2	高垣克俊	0745-78-1001	0745-78-1660	863.0	410.0	指定	B

工場資格で、指定は指定整備工場を示す

組織区分の意味

A=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)+整備業務

B=オフィス業務+自動車販売(新車)+整備業務

C=オフィス業務+自動車販売(新車)+整備業務+钣金塗装

## 【2】環境経営方針

### 《基本理念》

奈良スバル自動車株式会社は、日本が世界に誇る歴史的文化遺産が数多く存在する奈良県において、その貴重な遺産をとりまく豊かな自然の維持の為、また住み良い生活環境の実現と優れた歴史にふさわしい環境に配慮した健全な経営を全社員が常に意識し行動します。

### 《基本方針》

この理念のもと、当社が行う自動車および部品の販売、整備、保険代理業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省エネルギー（CO2削減を含む）、省資源、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用される環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取り組みを行い、必要があれば見直しを行います。
  - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量削減）
  - ②省資源（水使用量、紙使用量抑制）
  - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
  - ④化学物質管理の強化（PRTR法関連、VOC対策）
  - ⑤グリーン購入の促進
  - ⑥エコ商品の販売活動及びエコ整備の推進
5. ハイブリッド車を含め環境に配慮した車の販売を推進します。
6. その他の取組み
  - ①生物多様性の保全
  - ②拠点周辺の清掃活動を行ない、地域の環境改善に貢献します。
7. この環境経営方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2019年6月1日 改訂

奈良スバル自動車株式会社

代表取締役社長 高木 信一

## 【3】環境経営目標

当社は環境への負荷が大きいと考えられる《エネルギー使用量》《廃棄物の排出量》の把握をし、削減活動に重点をおく。同時に、リサイクルの推進を積極的に行う。

### (1) 環境負荷の状況と環境経営目標 \*全社合計

項目	単位	実績	環境目標					
		2019年度	2014年 (基準年度)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
電気使用量 (原単位指数) (削減率)	kWh	642,165	630,410 11.67	624,106 11.55 1%	617,802 11.44 2%	611,498 11.32 3%	605,194 11.20 4%	598,890 11.09 5%
燃料	ガソリン (原単位指数)	L 123,683	135,394 2.51	134,040 2.48	132,686 2.46	131,332 2.43	129,978 2.41	128,624 2.38
	灯油 (原単位指数)	L 3,631	8,636 0.160	8,550 0.158	8,463 0.157	8,377 0.155	8,291 0.154	8,204 0.152
	軽油 (原単位指数)	L 4,154	6,659 0.123	6,592 0.122	6,526 0.121	6,459 0.119	6,393 0.118	6,326 0.117
	重油	L ---	---	---	---	---	---	---
	LPG (原単位指数)	m3 10	645 0.037	639 0.037	632 0.036	626 0.036	619 0.036	613 0.035
	都市ガス (削減率)	m3 0	39.0	38.6 1%	38.2 2%	37.8 3%	37.4 4%	37.1 5%
	水使用量 (原単位指数) (削減率)	m3	12,581	8,529 0.158	8,444 0.156 1%	8,358 0.155 2%	8,273 0.153 3%	8,188 0.152 4%
産業廃棄物(総排出量) (削減率)	kg	124,128	88,168	87,286 1%	86,405 2%	85,523 3%	84,641 4%	83,760 5%
産業廃棄物(処分量) (原単位指数) (削減率)	kg	4,793	5,186 0.115	5,134 0.114 1%	5,082 0.113 2%	5,030 0.112 3%	4,979 0.110 4%	4,927 0.109 5%
一般廃棄物 (削減率)	kg	19,150	19,700	19,503 1%	19,306 2%	19,109 3%	18,912 4%	18,715 5%
二酸化炭素排出量 (削減率)	kg-CO2	586,075	684,427	677,583 1%	670,728 2%	663,894 3%	657,050 4%	650,206 5%

(注)電力量から二酸化炭素への排出係数は、0.522kg-CO2/kWhを採用。(環境省2013年度排出係数)

(注)原単位指数は、2014年度の実績を同年の整備入庫台数+販売台数で割った数値を指数とした。

(注)生物多様性については行動で実施します。

(注)2020年度以降の目標値は新経営計画に基づいて設定します。

## 【4】主要な環境経営計画の内容

### (1) 数値目標を達成するための取組

- ① 電気使用量削減
    - ・デマンド測定器導入による節電の実施
    - ・冷暖房の室温管理の徹底
  - ② 燃料使用量削減
    - ・試乗車・サービス代車の効率的な活用による社用車台数の見直し
    - ・社用車の低燃費車両への切替促進
    - ・エコ運転の推進(エコ安全ドライブ5か条の励行)
  - ③ 水道水の使用量削減
    - ・洗車時使用の水量少量化の促進と啓蒙活動
    - ・日常使用の水量も極力少量での使用指示の徹底
  - ④ 産業廃棄物の削減
    - ・マニフェストの完全運用及び管理
    - ・排出量削減の意識向上と手段の確立
    - ・分別再資源化の強化
  - ⑤ ハイブリッド車の販売推進
    - ・環境にやさしいハイブリッド車をお客様にアピールし販売を促進します。
- (注)数値が出ない場合は次年度から取組みます。

### (2) その他の取組

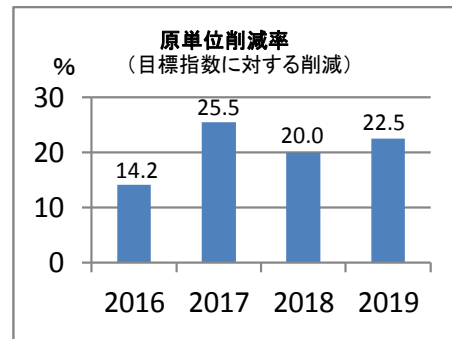
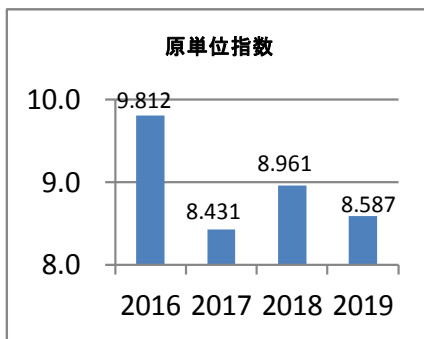
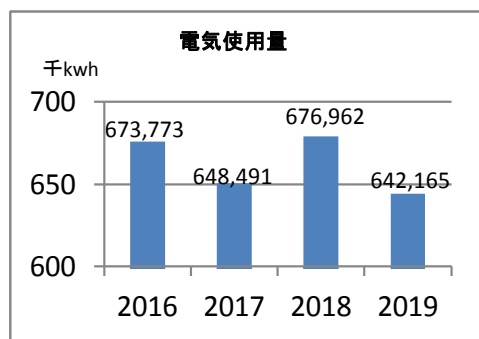
- ① 廃自動車部品のリサイクルの順守
  - ・リサイクル可能品の分別の徹底
- ② 低燃費タイヤの販売
  - ・商談の中に必ず商品の紹介販売促進を実施する
- ③ 公害防止装置洗浄剤の販売
  - ・お客様へのエコ取組の紹介と理解を求め、販売促進を実施する
- ④ 危険物保管量の見直し
  - ・法的遵守と適正在庫の徹底管理
- ⑤ 廃棄物保管場所の整理
  - ・散乱・流出防止のルール化と定期的な管理状況のチェックを実施
- ⑥ 緊急事態訓練の実施
  - ・各拠点年1回以上の防災訓練実施
- ⑦ 近隣への騒音対策
  - ・定期的なヒアリングと社員による周辺騒音状況チェックの実施
- ⑧ 自治会活動への参加
  - ・地域周辺の自治会清掃活動に積極的に参加
- ⑨ 環境関連法の順守
  - ・定期的に法改正の確認を実施し、適正に対応していく
- ⑩ 環境教育の実施
  - ・事務局及び各拠点エコ委員より、定期的な教育を実施していく
- ⑪ グリーン購入の促進
  - ・商品購入時は、必ずエコ商品の確認を実施し、優先的に購入していく
- ⑫ 生物多様性の保全
  - ・油類流出のこまめなチェック及び生物への影響度の確認を実施していく
  - ・資源浪費・森林破壊による地球温暖化防止の一助として、紙、コピー用紙使用削減を実施していく
- ⑬ エコ商品の販売活動
  - ・お客様への商談時はエコ商品を優先的に紹介販売していく

# 【5】環境経営の取組結果とその評価、次年度の取組内容

## (1) 数値実績と評価 期間(2019年4月から2020年3月まで)の実績

### ①電気使用量

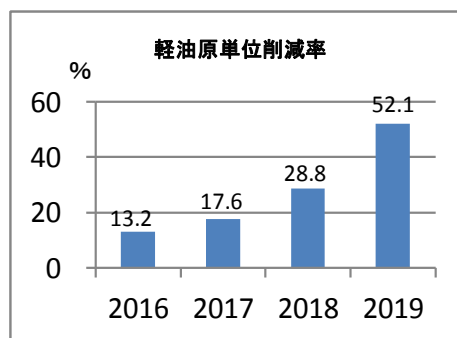
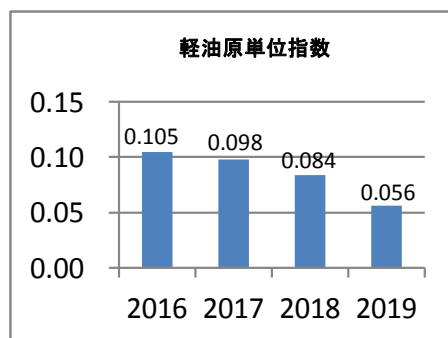
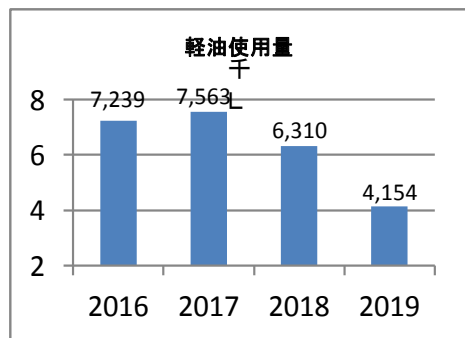
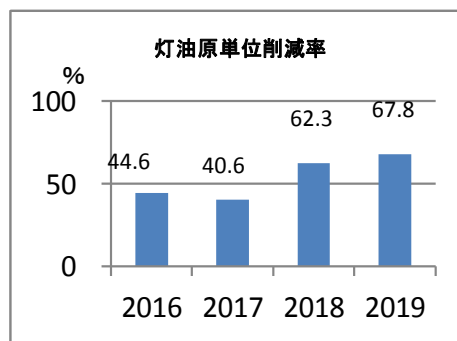
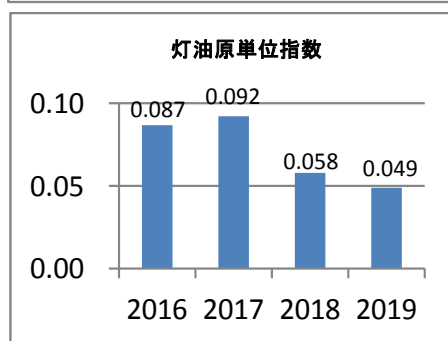
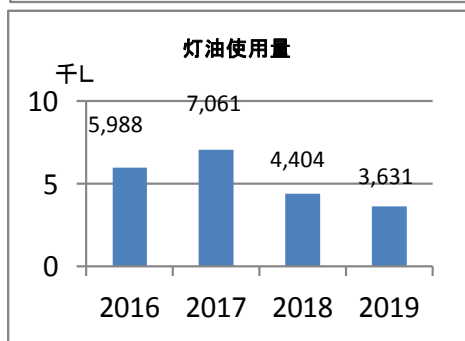
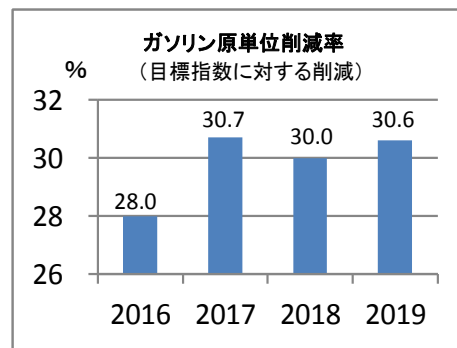
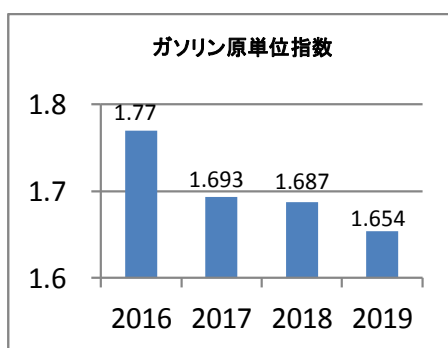
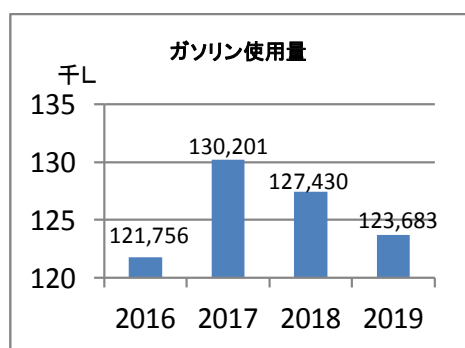
項目	単位	基準年度 (2014年度)	2019年度				
			削減目標	目標指数	実績	削減率	判定
2019/4~2020/3							
総量	kwh	630,410	5%	11.087	8.587	22.6%	◎
原単位指数		11.67					



電気使用量については、指数目標も大幅に達成する事ができ、また使用量も削減する事ができた。夏は例年になく酷暑でエアコン使用量の増加はやむを得ないと予想していたが、社員の削減意識は高く、こまめな温度設定を実施し、各人が忠実に実施した事による成果であったと思われる。

### ②燃料使用量

項目	単位	基準年度 (2014年度)	2019年度				
			削減目標	目標指数	実績	削減率	判定
2019/4~2020/3							
ガソリン	L	135,394	5%	2.384	1.654	30.6%	◎
原単位指数		2.51					
灯油	L	8,636			0.049		
原単位指数	L	0.160	0.117	52.1%	◎		
軽油	L	6,659	0.123	0.056	52.1%	◎	
原単位指数	L	0.123					

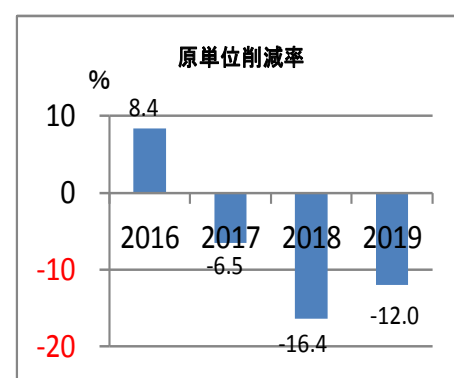
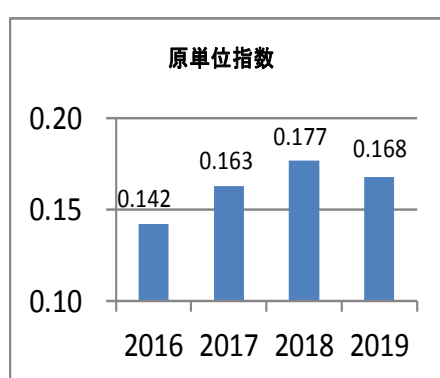
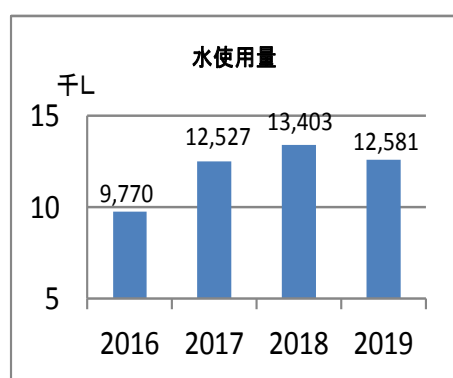




燃料使用量については、使用量の多いガソリン・灯油・軽油について目標を達成する事ができた。使用量についても3年連続で、削減を実現できており、この項目についても長年取組みを実施している事から、削減対策の定着化がはかれていると判断できる。燃料使用量は、当社のCO2排出量の中で大きな数値を占めており、それだけにここ数年の削減成果は評価できる取組みとなっている。今後についても、より成果を出すために、各個人が削減意識を高め、創意工夫を実施し、改善を進めていけるように全社で取り組んでいきたい。

### ③水使用量

項目	単位	基準年度 (2014年度)	2019年度					
			削減目標	目標指数	実績		削減率	判定
					2019/4~2020/3			
総量	m3	8,529	5%	0.150	0.168		-12.0%	×
原単位指数		0.158						

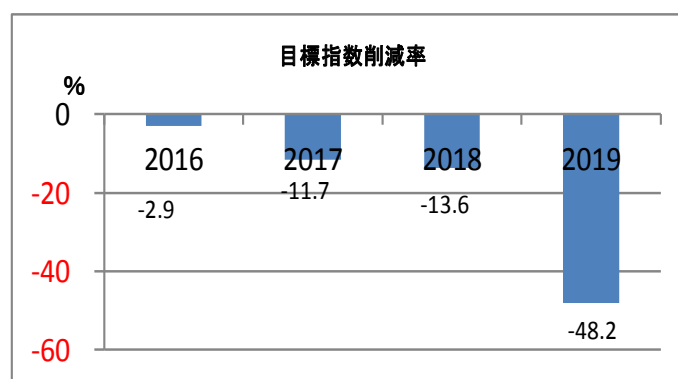
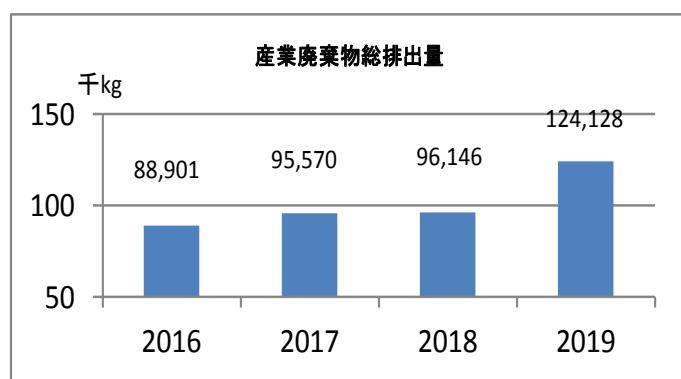


使用量は、昨年度より減少したが、指数目標値を達成する事はできなかった。新規の販売施作で手洗いによる洗車を優先させていることや、酷暑の影響で水の使用量は増加した事が原因と思われる。

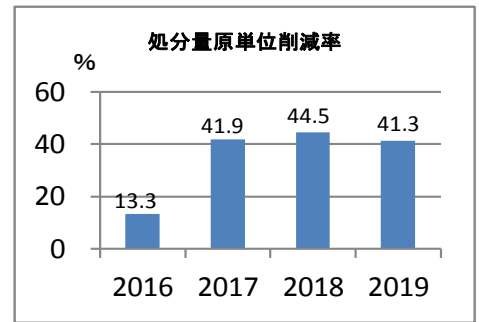
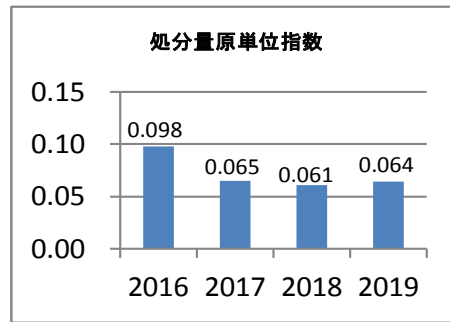
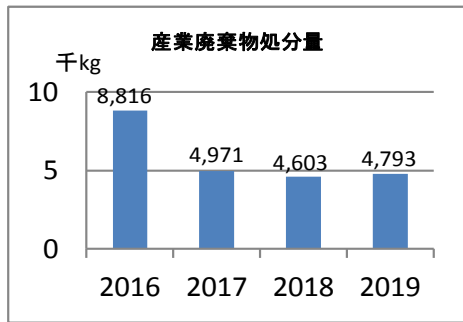
また、一部店舗で漏水による増加も認められたが、その量を差し引いても、増加している現状には変わりはない事から、来年度の対策としては、重点取組項目として、各部署へ取組みを強化する内容を指示して行きたい。

### ④産業廃棄物

項目	単位	基準年度 (2014年度)	2019年度					
			削減目標	目標指数	実績		削減率	判定
					2019/4~2020/3			
総廃棄物量	kg	88,168	5%	83,760	124,128		-48.2%	×
処分量	kg	5,186						
原単位指数		0.115	5%	0.109	0.064		41.3%	◎



総排出量については、昨年度より大幅増加となった。在庫量の増加に伴い排出される量が増加したとも判断されるが、分別や再利用の徹底への取組みが弱かった事が原因とも思われる。次期については、再度対策を立て成果がでるように取り組んで行く。

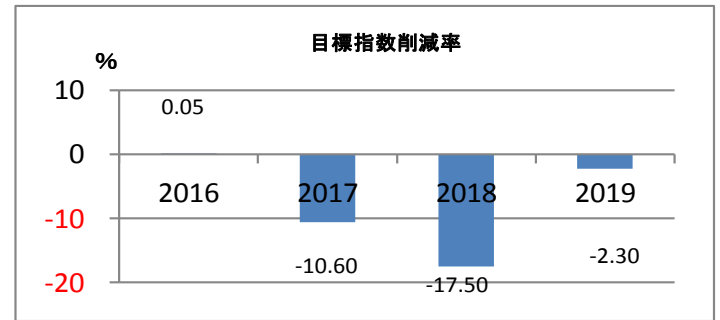
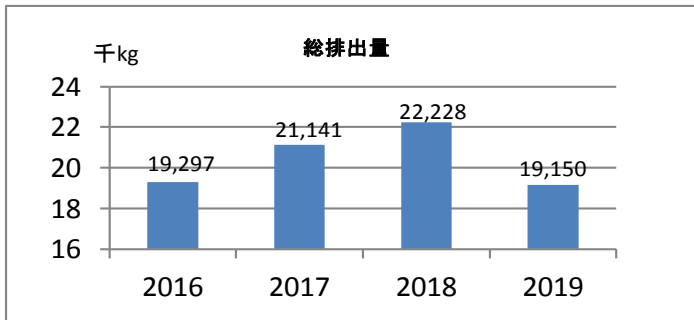


排出量は、昨年より若干多くなったが、成果は出せたと判断できる。また、原単位指数も大幅に達成できた。

これは、昨年に続きしっかりと分別や対策が実施できた事の表れと評価できる。今後についても、削減意識を常に向上させて、エコ委員を中心に啓蒙活動等の促進を実施して行きたい。

#### ⑤一般廃棄物

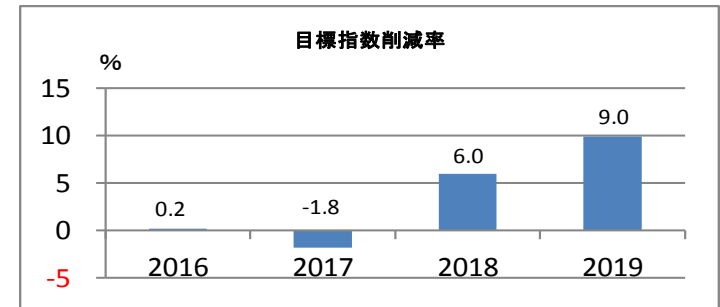
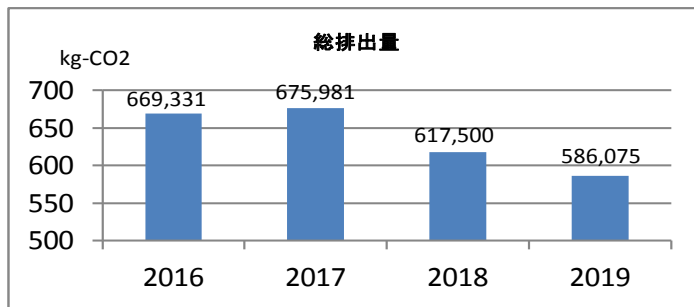
項目	単位	基準年度 (2014年度)	2019年度				
			削減目標	目標指数	実績 2019/4~2020/3	削減率	判定
総量	kg	19,700	5%	18,715	19,150	-2.3%	×



昨年より排出量は減少となったが、目標指数は達成することができなかった。それでも年々増加傾向にあった排出量は減少に留める事ができ、分別の徹底や再利用可能な商品の選定等を推進した成果があったと思われる。取組みについては、必然的な増加も発生するため、難しい所もあるが、次期もしっかりと対策を立てて取り組んで行きたい。

#### ⑥二酸化炭素排出量

項目	単位	基準年度 (2014年度)	2019年度				
			削減目標	目標指数	実績 2019/4~2020/3	削減率	判定
総量	kg-CO2	684,427	5%	650,206	586,075	9.9%	○



昨年に比べ排出量は減少し、指数目標も達成できた。売上の増加や在庫台数の増加はあったが、削減取組みは全体としては、成果がでた結果となった。次期についても、良い結果がでた項目はさらに改善を推進し、結果がでなかった項目については、要因を分析して、より具体的な取組みを実施して行きたい。

#### ⑦ハイブリッド車の販売実績

車種	2018年度			2019年度		
	販売台数	ハイブリッド車	ハイブリッド車 販売比率	販売台数	ハイブリッド車	ハイブリッド車 販売比率
フォレスター	418	182	43.5%	372	174	46.8%
XV	291	58	19.9%	293	146	49.8%
合計	709	240	33.9%	665	320	48.1%

ハイブリッド車の販売については、対象車種であるフォレスター・XV共に2019年度は販売台数を増やすことができた。来年度は、さらにハイブリッド車販売に力を入れてハイブリッド車の販売比率を増加させて行きたい。

## (2)その他の取組結果と次年度の取組内容

- ・新しいラベリング制度を活用し、「ラベル見える化」によりAAA aの低燃費タイヤの販売を充実させた(全拠点)
- ・自治会の清掃活動に参加(生駒店)、近隣保育園の児童学習依頼に対応(生駒店)
- ・消防署の協力を得て消防活動・避難訓練の実施(全拠点)
- ・小学校の廃品回収活動に協力(香芝店)
- ・献血活動に参加(橿原店)
- ・自主的に周辺道路・駐車場の草刈・清掃活動(橿原店・奈良店・郡山店)
- ・エコマーク及びグリーン商品表示のある製品を優先的に購入した。
- ・油水分離槽の清掃を定期的実施し、各工場毎に排水に油等が流出していないかを定期的に自主点検した。

## (3)次年度の目標

項目	単位	環 境 目 標				
		2017～2019年 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	
電気使用量 (原単位指数)	kWh	655,873	649,314	642,756	636,197	
(削減率)		8.659	8.572	8.486	8.399	
燃料	ガソリン (原単位指数)	L	127,105	125,834	124,563	123,292
	(削減率)		1.678	1.661	1.644	1.628
	灯油 (原単位指数)	L	5,032	4,982	4,931	4,881
	(削減率)		0.066	0.065	0.065	0.064
軽油 (原単位指数)	L	6,009	5,949	5,889	5,829	
(削減率)		0.079	0.078	0.077	0.077	
水使用量 (原単位指数)	m3	12,837	12,709	12,580	12,452	
(削減率)		0.170	0.168	0.167	0.165	
廃棄物	一般 (原単位指数)	kg	21,440	21,226	21,011	20,797
	(削減率)		0.283	0.280	0.277	0.275
	産業 (原単位指数)	kg	126,932	125,663	124,393	123,124
	(削減率)		1.676	1.659	1.642	1.626
	有価 (原単位指数)	kg	29,852	29,553	29,255	28,956
(削減率)		0.394	0.390	0.386	0.382	
総排出 (原単位指数)	kg	178,224	176,442	174,660	172,877	
(削減率)		2.353	2.329	2.306	2.282	
二酸化炭素の排出量 (削減率)	kg-CO2	626,519	620,254	613,989	607,723	
			1%	2%	3%	

\*基準年度は3年分の平均値

## 【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### (1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	要求事項	順守状況	評価
水質汚濁防止法	特定施設の届出	排水設備、油水分離槽の届出済と管理者による定期処理及び点検の実施	○
下水道法	特定施設の届出	届出済と適正管理を実施	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約、行政による定期的報告	適正業者と契約のうえ、法規に沿った分別及び適正に報告を実施している。	○
消防法	少量危険物貯蔵所の届出	届出済、表示及び保管管理について適正に実施している。	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	引取業者の届出済。適正に運営している。	○
騒音規制法	特定施設の届出(騒音発生施設)	届出済。騒音管理の実施	○
振動規制法	特定施設の届出(振動発生施設)	届出済。定期的振動測定の実施	○
浄化槽法	特定施設の届出	届出済。指定業者による汲み取り及び定期検査の実施。	○
フロン排出抑制法	フロン類製造から廃棄までの包括的な対策で、各段階の当事者に「判断基準」遵守を求める	設置されている空調機器の定格出力把握と簡易点検実施及び、必要時は専門業者へ依頼し点検実施している	○

### (2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 【7】内部環境監査の実施と評価

全拠点工場で実施した結果、監査項目については適正に実施されていた事を確認した。

## 【8】代表者による評価と見直し

本年度の会社の業績については、昨年よりも良い結果が得られた事はよかった。エコアクションの活動については、CO2排出の主要因となる電気・燃料については、成果が出せた事は評価できる。

しかし、昨年度より重点取組みとして実施した水使用量については、今年も成果が出せない結果となった。また、廃棄物についても増加傾向にあり、成果にバラツキが目立つようになっている。当社もこの取組みをして10年となるが、良い意味での成果が出せるコストも理解している反面、取組みが雑になるという悪さも出てきたと思われる。ここで全社員が改めて初心に戻り、何の為にこの取組みをしているのかを再考する必要があるのかとも思う。地球温暖化や廃棄物汚染が進行していく中で、当社の取組み成果は、地球全体に比べれば小さなものかもしれないが、それでも全社員が一丸となって取り組む事で、温暖化や汚染改善の一助となる事を信念をもって実施する事で、取組む全ての項目の成果が出るようになると思う。事務局・エコ委員を中心に基盤を再構築して、次年度も取組みを推進してほしい。

### (店舗紹介)

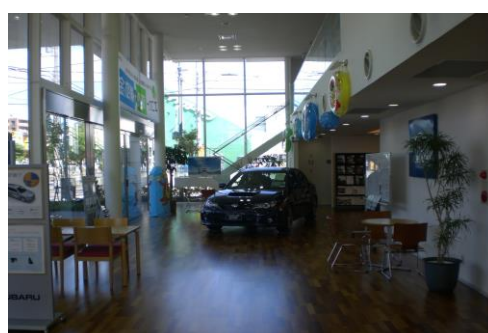
奈良店



奈良店ショールーム



生駒店



生駒店ショールーム

香芝店



香芝店ショールーム



郡山店



郡山店ショールーム



## 【9】活動事例

各拠点で工夫を凝らしたグリーンカーテンと緑を育て、光を調和させました。



檀原店では、今年も見事なグリーンカーテンが完成しました。



生駒店では、社員が育てた花が見事に咲きました。

香芝店では、店舗敷地内に多くの緑を育てています。



香芝店では、敷地内に畑を作り、今年はトマト・ナス・ピーマンを育てました。



**学校教育への協力もさせていただきました。**



中学校へ出向き、社会人としての仕事の紹介を講義させていただきました。

**消防訓練を実施しました。**



奈良店では、消防訓練を毎年消防署から来ていただいて実施しておりましたが、今年はコロナウイルスの為、課員のみの実施となりましたが、全員参加で真剣に訓練に取り組みました。



生駒店では、今年も恒例の課員全員参加で、消火訓練を実施しました。全員が真剣に訓練を実施し万一の時には、即時に対応できるように設置場所の確認も行いました。

## 環境經營方針改訂履歷

○2010年1月15日制定

○2011年1月20日改訂

○2019年6月1日改訂